

新保育所・御影こども園の

給食業務を民間委託

12月
定例会

令和元年第6回清水町議会定例会は、12月10日から19日までの10日間の会期で開催されました。初日は、専決処分の承認2件、条例の一部改正4件、一般会計ほか5会計の補正予算、工事請負契約の議決事項の変更2件の審議を行い全て可決しました。2日目と3日目は、一般質問が行われ、8人が町政について質問しました。最終日の4日目は、条例の一部改正3件の審議を行い全て可決し閉会しました。



建

設中の保育施設は、第一保育所と第二保育所を統合した新保育所として令和2年4月から使われますが、今定例会で提案された一般会計補正予算の可決（審議結果は5ページに記載）により、新保育所と御影こども園の給食業務は、令和2年度から民間へ委託されることになりました。また、新保育所については、面積も広くなり児童

数も増えることから、清掃業務についても、民間へ委託されます。

現在、第一保育所・第二保育所・御影こども園での給食の提供は、町直営で行われており、保健福祉課の栄養士が献立を立てて、臨時調理員が各所で調理を行っています。

民

間に委託する理由として町からは、「臨時や代替の調理員を

募集してもなかなか人が集まらず、現在の調理員が退職した後の人員の確保が難しくなってきた。

新保育所は1日200食ほどの大量調理となり、年々増えている食物アレルギーへの個別対応や食品の品質管理、衛生管理を考えると、専門の業者へ委託して対応することが望ましいと考えた。御影こども園についても、統一した献立として

ので合わせて委託したい」との説明がありました。

財政面では、現在の町直営方式と比較して民間委託方式のほうが、消費税などの諸経費により増加する見込みですが、献立の作成や栄養管理、衛生管理も全て委託業者が行うため、保健福祉課の栄養士が、食生活の改善など本来の保健指導業務に専念できるようになります。

審

議の中で議員から民間委託は突然の話。計画性が感じられない」と指摘する声もありました。それに対し町は、「調理員の人員確保が今後の大きな課題となっており、昨年からの委託を考えていたが、新しい保育施設の建設に合わせて実施する方向となり、今回の提案になった」と説明がありました。

質疑

現在働いている調理員の処遇はどうなるのか。きちんと説明はしたのか。

答弁

委託業者での採用をお願いし、今の雇用条件より悪くならないよう交渉していく。調理員には説明しており、理解していただけたものと認識している。

質疑

これまで、なるべく地元食材や業者を使うようにしていたかと思うが、それは民間委託になっても変わらないか。

答弁

できるだけ地元の食材を取り入れ、安心・安全な給食をつくらせていただくようお願いしている。



これまでと変わらず、安心安全を第一に、おいしい給食の提供を

みんなにも注目!

補正予算

デイサービスセンター
内部改修工事と
備品購入に
3242万円

平成10年のデイサービスセンター開設以来、年数の経過とともに施設・設備等の経年劣化が進んでおり、今後において改修の検討が必要でした。

質疑

工事期間中、デイサービスの運営に支障はないのか。

答弁

大きな工事となるので、休みにしなければならぬ場合もあるかもしれないが、利用者に不便のないようにする。

農業研修会館
煙突改修工事に
2954万円

昭和46年の建設から既に48年が経過し、経過年数とともに施設の老朽化・劣化が進んでいます。

質疑

5〜6年後に建て替える計画がある施設に対し、お金をかけすぎではないか。施設を閉鎖することも考えたと思うが、どのような経過で修繕して使う方向になったのか。

答弁

施設を閉鎖することも考えたが、隣接する体育館の建て替えまでにまだ5〜6年あり、利用者が多く、代替施設がないことから施設の利用を継続することにした。

内部改修工事については、床工事、機械浴槽工事、



内部改修を行うデイサービスセンター

※全員協議会で説明された際の内容も含んで掲載しています。